



共闘と訴えました。見方を示し野党は

後はまとまらざるを得ない」との進んでいないが「野党が一つにならなくならないにすらならない。最も選挙区では野党一本化の協議が党共闘の必要性を強調。一人区のために」と題し、参院選に向けた野党共闘の必要性を強調。一人区の小林氏は「安倍暴走を止めるた起こそう」と呼びかけました。

菅教授が「政権打倒へ大きなうねりを富山の地で民連合」準備会の世話人の一人、星野富一富大名連帯のあいさつで、協団体の「オールトやま県者470人」。

3月22日「平和・民主・革新の日本をめざす富山の会」(富山県革新懇)は富山国際会議場で小林節(慶応大学名誉教授)の講演会を開催(参加者470人)。

3・22安政権の暴走を止めるために野党は共闘と訴え(小林節・憲法学者)

小林節 (こばやし せつ)
1949年生まれ。
日本の法学者、弁護士。専門は憲法学。慶應義塾大学名誉教授。東京都出身。

第87回
2016年
5月1日
平和と民主主義 中立の日本をめざそう

富山国際会議場

5月1日(日) 9:00-13:00
A.M. 9:30 F.M. 13:00

富山国際会議場



4・12戦争法廃止屋宇王情報隠す政権 退陣を!

富山県高齢者大会に20人参加
わがややく面白かった

3月19日、県中小企業センターで「ひとりぼっちの高齢者をなくそう」をテーマに富山県高齢者大会が開催され、県内各地から241人が参加しました。主催は富山県高齢期運動連絡会で、開会のあいさつは米谷寛治代表委員がおこないました。記念講演は「原発事故から5年、平和とくらし明るい未来へいま『平和』と『生き方』を考える」と題して、安西育郎さんが話されました。講演は大変わかりやすく、ユーモアに富んだ内容が含まれており、思わず笑いが込められました。震災後、福島に毎月通いながら放射能を測り続けている行動に感心しました。各分散会では、参加者全員から感想や意見が出されました。「楽しい講演

国民大運動富山県実行委員会・安保廃棄山内実山市内で戦争法の廃止を訴える屋休みデモ行進をしました。約50人が参加。

安保廃棄山内実務局長の松浦晴芳事務局長は、「国民に情報を隠しながら暴走する安倍内閣に怒りと運動の輪が広がってきている」とのべ、県内でも野党と県民との協力が進んでいることを報告しました。参加者は、「戦争法の発動止めよう」「みんなの力で廃止にさせよう」「安倍政権は今すぐ退陣」とコールをしながら歩きました。

富山地裁 傍聴お願いします!

年金裁判は、39都道府県で3927名が原告団となり、歴史的な裁判になっています。

富山県は46名の原告の内、富山支部は12名です。裁判は6月1日に富山地裁判断所で審理が予定され、いよいよ本格化します。この裁判は「年金制度の在り方に世に問うものであり、国民に広く宣伝し、また、裁判所の法廷を満員にする事が重要です。「裁判を支援する富山の会」は、県労連などの団体が結成されていきます。今後の裁判を支えるため、個人参加をを広げ、募金活動を強め

年金裁判 6月1日(水) 午後3時

「政治的教養」高校生の政治的活動で県教委へ

3月30日、高教組は「政治的教養の教育と高校生による政治的活動」について県教委に申し入れを行いました。県教委からは、川腰教育次長 荒木県立学校課長ら5名が対応しました。

今夏の参議院選挙から18歳以上選挙権が付与される状況下で教育行政は、政治的教養を身につけるための条件を整える必要がある指摘。また、「政治的中立性」で学校現場を委縮させないよう要請。さらに高校生の構外での政治活動について県教委が「届け出制」とする方針を出さないよう求めました。

| 選挙権 | 成人 |
|--------|---------|
| 日本 | 18歳に20歳 |
| 韓国 | 19 |
| 中国 | 18 |
| 米 | 18* |
| フランス | 18 |
| オーストリア | 16 |
| アラブ | 18 |

主なる国の選挙権、成人年齢

*米50州のうち21州は19歳、3州は21歳

教育次長は、主権者教育について「積極的に支援していく」、教員の個人的見解の表明についても「良識の範囲内で、公平・公正・中立を逸脱しないのであれば」と述べました。県立学校課長からは、「届け出制」について県教委として方針を出すことは考えておらず、「学校判断で」という回答でした。

富山県労連

2016年4月号
発行所 富山県労働組合総連合
富山市豊田町1丁目128-111
TEL 076143315850

4・3オールとやま県民集会 安保法制の廃止 立憲主義を取り戻す

4月3日「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるオールとやま県民集会」が富山国際会議場で開かれ、607人が集まりました。ステージには野党4党の代表と県民クラブの県議が並び、富山県では極めて珍しい光景でした。開会のあいさつで世話人代表の一人、土井由三(元小杉町長)は「富山でも民進党が政党内協議に応じることになり、明日から政協協議に入る。」と報告。

シールズのメンバーで筑波大学4年の本間信勝さんのスピーチ、「野党共闘で憲法危機を乗り越える」と題する山口二郎さん(法政大学教授)の講演がありました。

富山で初!! シールズ参加のサウンズパレード

4・3オールとやま県民連合の集会后、安保法制関連法の廃止を訴え若者グループSEAL Dメンバー本間信和さんが参加し、富山で初のサウンズパレードがおこなわれました。これにドがおこなわれました。これは、約200人が参加しました。桜が満開のなか、城址公園が



ら富山駅前にかけて200人によるパレードがおこなわれ、参加者は、プラカードや楽器を片手に軽快なリズムに合わせて安保法制の廃止を訴えました。パレード中は歩道から行進に加わる若者をはじめ、県民や外国人観光客も注目し、サウンズパレードは大成功となりました。



3月29日、富山駅前CIC前広場で「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会は、戦争法の廃止を求める集会を開き、約280名が参加しました。

呼びかけ人を代表してあいさつした青島明生弁護士は「安倍首相は安保法制で抑止力が増すと言っているが、逆に危機を増やしている」と指摘。緊急事態条項を設けるなど改憲を参院選の争点に掲げる安倍政権を倒そうと訴えました。



富山選挙区で野党 統一候補 実現か?

「オールとやま県民連合」と県内4野党が4月12日、無所属の統一候補として道用悦子さんを擁立することで合意しました。

オールとやま県民連合・県民大集会でのアピールに基づき県労連として支持決議をあげ、平和とくらしを守るために支援行動に取り組みことを確認しました。その際は、「アピールのポイント」

- ・個人 の 尊 厳 を 擁 護 す る、立 憲 主 義 と 民 主 主 義 政 治 を 取 り 戻 す。
- ・野 党 共 闘 の 実 現 で、安 倍 政 権 の 暴 走 に ス ト ッ プ を かけ よ う。



道用悦子さん
富山大学人文学部語学文学科卒業
富山県PTA連合会副会長(2010年)
オールとやま県民連合世話人

結局、明文化したものの開示はありませんでした。職員採用における中途採用は、前歴、年齢、資格などを参考とし、在職者とのバランスを配慮した上で決定すること。

しかし、中途採用時における給料格付けの明確な基準の説明はありませんでした。これに対し、会議所側は「腹ひとつで決めているわけではない」と言っています。

■人事考課における客観的な基準を明らかにせず 人事考課については、自己採点后、上席者による3段階の評価によって決まるという『手順』に關する説明がありました。しかし、職員を評価する明確かつ具体的な基準を示して欲しいという組合など1時間近く組合とのやり取りがありました。

賃金・労働条件改善の団体交渉始まる

4月12日、とやま自治体一般労働組合は、富山商工会議所(以下会議所)と、当該組合員(以下組合員)の賃金及び労働条件等の改善に関する団体交渉をおこないました。団交は富山商工会議所と所から4名が参加し、このことから生まれてくる子どもたちです。少しでも日本が戦争に参加する可能性がある限り、反対・廃止の声を上げて行きたい」と語気を強め語りました。

集会后、参加者はドラムのリズムにのせてコールし、ゼミ行進をおこないました。

戦争法廃止!第3弾

富山県民集会に280人!

今回の団体交渉は2時間半に及びましたが、議論がおこなわれたのは、要求6項目の内2項目程度に留まっています。そのため、次の交渉を4月26日に再開すること、文書で回答する約束を得て閉会しました。